

平成28年5月

学校教育計画（平成28年度～平成31年度）

学校名	平塚盲学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制・普通科/専攻科 視覚障害・幼小中高
-----	-------	------------------	--------------------------

1 学校のミッション

県立唯一の視覚障害教育部門の特別支援学校として、幼児・児童・生徒の自立と社会参加に向け、乳幼児期からの早期の相談・支援をはじめ、幼稚部・小学部・中学部・高等部まで一貫した教育を行う。また、専門教育を主とする高等部理療科および保健理療科では、特色ある職業教育の充実に取り組む。児童・生徒の減少する中での、教科指導体制の工夫を行い、その体制の充実を図る。また、その専門性を生かし、全県にわたる弱視教育、視覚障害教育のネットワークの中心としての機能を充実させ、それぞれの地域での自立と社会参加のための支援に取り組む。

2 学校教育目標

- 視覚障害のある幼児児童生徒の自立と社会参加をめざした一人ひとりのニーズに応じたきめ細やかな教育の推進
 - 専門性の維持・継承をめざす研修・研究の推進
 - センター的機能の充実と関係諸機関や地域との連携の促進
 - 全ての幼児児童生徒にとって安心・安全な学校作り
- 【目指す学校像】
- 幼児児童生徒が自己実現にむけてお互いに尊重し合い、助け合い、支え合い、自らの意思が反映される学校
- 【目指す幼児児童生徒像】
- 自ら何かをやってみようという意思を持てる人
 - 自己表現できる人
 - 集団生活を意識できる人
 - 社会とつながる力を持てる人

3 計画作成時点での課題

- 学校全体としての幼児児童生徒数が減少傾向にある中で、視覚障害以外の障害や疾病をあわせ持つ幼児児童生徒の割合は増加しており、教員が一人ひとりの状態や課題を的確に見極め、それに応じた支援が今まで以上に求められてきている。
- 専門性が高いベテラン教員の退職が続き、世代交代の時期を向かえている。このような状況の中で、学校全体として視覚障害教育に関する専門性の維持・継承が大きな課題となっている。

4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	・視覚障害による学習上または生活上の困難を主体的に改善・克服するための専門的な指導を系統的に行う。	・自立活動の指導力向上と視覚障害に関する専門性の維持・継承にむけた研修や研究システムを充実させる。
2	幼児・児童・ 生徒指導・支援	・幼児児童生徒一人ひとりの実態をふまえ、課題を的確に捉え、個別教育計画にもとづいた指導や支援を組織的に行う。	・幼児児童生徒一人ひとりの実態や教育的ニーズを適切に把握し、専門職や保護者等も含めたチームとしての取組みを進め、一貫性・系統性のある教育活動が展開できるように努める。
3	進路指導・支援	・幼稚部や小学部を含む早期から高等部まで自分の将来について主体的に考えられるように支援し、一貫した進路支援を行う。	・「学校全体の進路支援」を目指し、進路に関する情報等を整理・共有し、組織として進路支援にあたれるように努めていく。
4	地域等との協働	・関係諸機関や地域とのつながりを強化し、連携・協力・支援体制を確立するとともに、視覚障害や盲学校に関する情報を発信していく。	・視覚障害教育における地域のセンター的機能を最大限発揮できるように、関係機関等への周知活動や小中学校の支援等を積極的に行い、それをネットワークの拡大につなげる。
5	学校管理 学校運営	・安心安全な学校作りを推進し、組織として指導体制や管理体制の見直しや整備を進める。	・学校運営上の各種マニュアルを見直し、定期的な研修や訓練を通してより職員・児童生徒が主体的に取り組んでいけるような手立てを考え、実施していく。